

がまんの時

やはり早くも冬のさざし

せし夕一を着た本 何となくさざい

にたよう居せり多しおあり

この冬は これでのりき形勢れ

急上一日の温度の変化が下りいと

どうしたろうか 子ようこおあり

去年より 季節の変化と 氣と なること

けりかた

今月 新へルにたなつて二回目

今朝のへルにたなつて 午アリツツ

親印は やつてくれ

親印も 寝るいおあり

その人の 様子でいゝ 細所の親印だ

朝日 だれおまの 不明

午後後 けいばり

こちろも

いつか だれおまの わからるん

多い 来りの けい

たに 人何因縁 けい つくりたくい

自分への勉強だ

どちらを「二千イ」のよろにははいかない
 くらべてはよくあるとわかっている
 毎のよろたしてくれ
 この時はこうだ
 とおとつ ひとつ 思い出す
 その思いを取り除きしこくねるのを
 敬びりたるよ
 任方石い しげうくは じつとしていよう
 かずん ぶ ぶ い 二と 大印だ
 時には かずんを放棄すること
 ありうる

2022
10/6